

第32期第14回常任理事会議事録

日 時：2003年10月15日（水）17時10分～18時15分
 会 場：せんだいメディアテーク会議室（7階）
 出席者：廣田，古川，勝山，神沢，木田，近藤，住，
 田中，新野，藤部，萬納寺，山内，以上12名
 その他の出席者：館（事務局）
 議 題

1. 第32期第13回常任理事会議事録の確認
2. 各委員会等の報告
 - 庶務…転載許可
 - 気象集誌65巻 p. 954第5, 6図を朝倉書店刊行
 予定の「リモートセンシングハンドブック」
 へ転載
 - ・後援名義など使用依頼受付
 - 名称：球面上の偏微分方程式解法に関する国
 際ワークショップ
 - 1) 主催：地球フロンティア研究システム
 - 2) 期日：2004年7月20日（火）～23日（金）
 - 3) 場所：海洋科学技術センター
 横浜研究所三好記念講堂
 （横浜市金沢区昭和町3173-25）
 - 4) 名義：後援
 - 名称：CFDによる局所的風況予測システム
 —LAWEPS から始まる風車適地選定—
 - 1) 主催：局所風況予測ワーキンググループ
 - 2) 期日：平成15年11月10日（月）
 - 3) 場所：建築会館ホール
 （東京都港区芝5-26-20）
 - 4) 名義：協賛・後援
 - ・東京湾海洋環境研究委員会（前，東京湾海洋
 環境シンポジウム実行委員会）委員派遣依頼
 について
 第32期第13回常任理事会で紹介された委員選
 出依頼に対し，本委員会は提言をまとめるな
 ど社会との関わりがありそうなことを考慮し
 て，古川武彦会員を選出する。
 - ・「新教養の気象学」刊行通知書
 9月に200部印刷した。
 - ・中期国債ファンド繰上償還（予定）の通知
 中期国債ファンドがその商品性を維持するこ
 とが困難となったため，来年5月に繰上償還
 するという通知があった。気象学会は流動資

産のうち約850万円を中期国債ファンドで保
 有している。最適な運用法を検討する。

- ・気象学会からの JACM 運営委員の選出依頼
 第32期第13回常任理事会で紹介された委員選
 出依頼に対し，肖鋒（シャオフン）会員（東
 京工業大学）を選出する。

会計…2003年9月分の収支報告

天気…Vol. 50 No. 10（2003年10月号）の掲載記事と
 Vol. 50 No. 11（2003年11月号）掲載予定記事
 の報告。IUGG 報告は1月号，2月号に掲載す
 る予定。

気象研究ノート…「モンスーン研究の最前線」の目
 次ができた。タイトルが過去発行したものと
 重複していないか確認する。

講演企画…来年の春季大会からポスター紹介をやめ
 る。今大会の予稿集は再生紙を用いた。大会
 発表の申し込みをオンラインにするのか，予
 稿集を CD-ROM にするのか，などを今後検
 討する必要がある。また，予稿集の売れ行き
 や会員の要望を調べてはどうか，とのコメン
 トがあった。

国際学術交流…後期の海外の研究集会出席補助は1
 名。補助の額，招聘する場合の条件などを明
 文化する予定。韓国は2004年3月に気象学会
 50周年の行事を行う。正式な招待はまだ来て
 いない。

電子情報…2003年9月1～9月30日の気象学会ホー
 ムページのアクセス状況（9月74,257件）。

用語…リストに上がった用語の中から，一般的用語，
 死語になりつつある用語に対する会員からの
 意見を聞くこととする。専門用語をどうする
 かは今後の課題。

地球環境…会員・会員外に様々な情報を提供するた
 め，「温暖化と異常気象」というテーマで春季
 大会の専門分科会を開催する。会員・会員外
 を問わず無料，他学会へも周知すること，マ
 スコミを利用して宣伝すること，温暖化イニ
 シアティブの関係者も呼ぶこと，時間は3～4
 時間，ということを計画している。これに対
 し，専門分科会という枠を使うが，気象学会
 主催の公開シンポジウムとした方が良いので

はないか、というコメントがあった。

3. 会員の新規加入等について

新入会員9名を承認、退会6名。10月9日現在、

会員数4,364名(内、通常会員3,895名)。

4. 2004年度事業計画(案)

2004年度事業計画の案に対し、今後修正していく。

国際学術研究集会にかかわる補助金申請の募集のお知らせ

日本気象学会細則第8章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会出席および招聘にかかわる旅費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

対象の集会

A: 2004年6月1日～11月30日および

B: 2004年12月1日～2005年5月31日の期間に開催される国際学術研究集会

【I】外国で開かれる国際学術研究集会への旅費補助

1. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。ただし、他から渡航旅費に関する援助のある場合を除く。

なお大学等の研究を本務とする機関で定職に就いている方の複数回の助成は原則として認めない。また大学院生の場合は、原則として修士2年程度の研究実績を要するものとする。

2. 募集人員

若干名

3. 補助金額

開催地域へのPEX運賃による渡航旅費の半額を支給する。

4. 応募手続

所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

応募締切り日: A: 2004年3月15日

B: 2004年9月15日

注: 申請書は最新の様式のものを用いて日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにある

—国際学術交流委員会—
ものを使用すること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。

e-mailでの申請は受け付けない。

5. 補助金受領者の義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ(2000字)程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。

【II】国内で開かれる国際学術研究集会への旅費補助

1. 外国人研究者招聘の旅費補助

外国で開催される国際学術研究集会への気象学会会員の出席旅費補助を目的とした予算の他に「交流事業」として年間20万円(今年度実績)が計上されています。

国際学術交流の趣旨に基づき、使途を「日本気象学会会員が主催者となり国内で開催される国際学術研究集会に出席する外国人研究者招聘の旅費の補助」に限定して、会員からの申請を募集します。

2. 応募手続

申請書の形式は特に定めていない。

当該研究集会の主催者である日本気象学会会員は、集会の期日、目的、概要、招聘する研究者の国名、氏名、招聘に関わる費用を明記して申請すること。

書類提出先は【I】の4に同じ。

3. 補助金額

国際学術交流委員会での協議による。

応募締切り日: A: 2004年3月15日

B: 2004年9月15日

4. 補助金受領者の義務

補助金受領者は別に定める様式の報告書を提出すること。